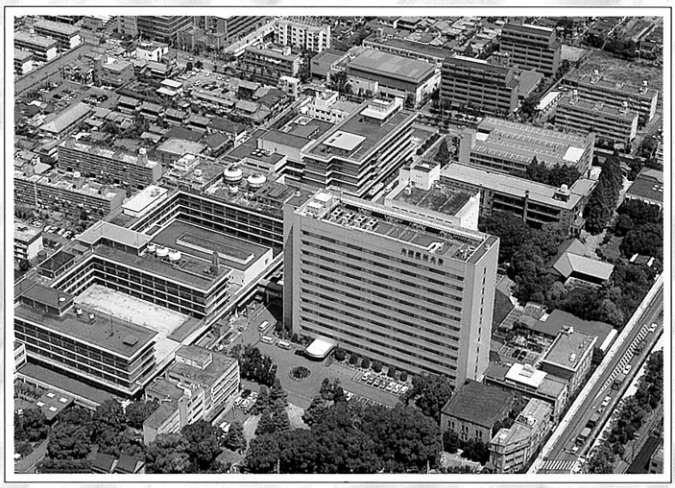


大阪医科大学医師会々報

Annals of Osaka Medical College Doctors' Association

第6号
平成8年9月

もくじ

❁巻頭言 ……大阪医科大学医師会　副会長　河野公一　1

❁特　集

附属病院の現状と将来……大阪医科大学附属病院　院長　佐々木進次郎　2

❁大阪医科大学医師会員への勧誘活動 ……広報担当　高松順太　5

❁会員の広場

朝の2時間ちょっと ……竹中　洋　10

小児科医の立場 ……玉井　浩　11

❁インフォメーション（研究会・講演会・カンファレンス etc.） …… 12

❁北摂四医師会医学会プログラム（第3回） …… 13

❁平成7年度大阪医科大学医師会会計報告 …… 15

❁平成8年度大阪医科大学医師会予算案 …… 17

❁大阪医科大学医師会役員構成 …… 18

❁大阪医科大学医師会会員名簿 …… 21

（題字：藤本　守　学長）

巻頭言

大阪医科大学医師会　副会長

河野公一

近頃，国際化，国際交流，国際貢献などという言葉を耳にしない日はない．私の教室にもコンピュータの端末が置かれ，図書館に出向かなくても情報を入手できるようになった．やがて世界中のあらゆる文献情報を瞬時に検索することも可能になるであろう．インターネットが急速に普及しつつある．仕掛人はアメリカのクリントン政権のスーパーハイウエイ構想と，マスコミのマルチメディア報道であるが，どこの書店も関連の書籍で溢れている．

このように世界的規模の情報網が構築されつつあるとき，少なくとも医学の分野では英語が国際標準語になりつつある．日本語は言語としてはその表現性において卓越しており，政治や経済，科学の分野のみならず芸術においても微妙な事柄が言い表せる．しかし悲しいかな国際学会でも医学論文でも日本語では認知されないのが現実である．私の分野の国際会議でも同時通訳が行われることがある．演者の表現が悪いのか，通訳が良くないのか，いずれにしても意味が分からないことが多い．日本人が医学の世界で国際水準を保つためには，いわゆる日英バイリンガルを目指すしか現実的な解決方法はないであろう．大阪医大医師会にも私と同じ様なやるかたない気持ちを抱いている会員も少なからず居られることと思う．

課題を多く抱えた昨今の医師会活動のなかで，発行以来全国の医科大学からも数多くの問い合わせがある本会報が，医大医師会の伝統を守りつつ，できれば地域性と国際性を兼ね備えた，情報を受け取るだけでなく，発信能力を持った情報誌に育つことを期待しているのは私一人ではないはずである．

特　集

附属病院の現状と将来

大阪医科大学附属病院　院　長　　佐々木　進次郎

本年４月１日より美濃　眞先生の後任として本学附属病院長を拝命しました．医療をとりまく厳しい環境を考えますと，責任の重さに身のひきしまる思いが致します．皆様のご協力をえて何とかこの大任を果したいと存じます．

さて，本会報の広報担当の方から依頼がありましたので，附属病院の最近のトピックスといえるもののうち，現在進行中であったり，あるいは将来計画として話題になりつつある２，３の案件につきのべたいと思います．

１）病診連携について

まだ御存知でない方々もおられるかも知れませんが，本年４月１日から当附属病院の３号館２階に病診連携室が設置されました．業務内容の主なものをあげますと，①地域医療機関からの紹介患者の受付･予約及びその後のフォロー，②本院の診療体制･各科の特色等の一覧表の作成・管理及び関連機関への配布，③本院宛専用の紹介状・封筒の関連機関への配布，などです．現在のところ係員１名が平日は９：00～14：00，土曜日（第２，第４を除く）は，９：00～11：00の時間帯で業務に当たっております．開設後日が浅いこともあり，紹介件数は６月末現在でまだ22件にすぎません．今後更に地域医療機関への周知徹底が必要と考えています．

上記のような病診の協力関係が定着すれば，将来は大学各教室の研究会・カンファランスへの出席など，生涯教育面での連携へと発展することも期待できます．また，大学附属病院に勤務する専門医指向の医師にとっては，全人的教育やプライマリーケアー教育の面における病診連携の意義は大きいと思われます．

2）第2，第4土曜休診の試行について

本年4月に第2，第4土曜日の休診を始めてからの休診該当日は4月13日，27日，5月11日，25日，6月8日及び22日の計6日でした．患者さんへの周知徹底が不十分なこともあり，とくに100名を越す来院者のあった前半3日は病院正面門や大学北門で待機し，「本日は休診です」と説得に当たられた病院医事課職員の方々には大変御苦労をおかけしました．全体を通じて，結局は来院者の30～50%が受診されていますが，受診者の大部分は再来患者で，うちほぼ半数は予約患者です．診療科別にみると，泌尿器科，小児科，産婦人科が多く，なかでも泌尿器科が最も多いという結果で，これは血液透析を要する予約患者が多いことによるものです．

3）病院情報システムの導入について

かねてからの懸案であった病院情報システムの導入が実現することになりました．早ければ平成9年1月医事システムの稼働，5月よりオーダリングシステムの稼働を開始する予定です．平成6年12月以来4回の病院情報システム推進委員会，及び3回の病院情報システム推進小委員会での検討を経て，平成8年3月21日機種選定委員会で4社よりプレゼンテーションをうけました．さらに4社中2社について再度ヒアリングを行い，慎重に選定を行った結果，最終的に富士通のシステムを採用することになりました．

申すまでもなく病院情報システムの導入の目指すところは，患者サービス，診療及び経営効率の向上にありますが，さらに将来に向けて，開かれた高度医療情報システムの基盤を構築するという目的もあります．

当附属病院に設置予定のオーダリングシステムは病院内の他部門のシステムを連携するためのインターフェースを標準装備しています．医事，検査，病棟，給食などの各システムと接続してトータルシステムを構築することができます．この情報システムを構築するに当たり，最近「病院情報システム企画室」及び「病院情報システム構築委員会」が発足しました．システム稼働に向けて具体的な作業が進められます．

4）病院の拡張建築について

拡張建築で近い将来着工が可能と思われるのは「病院西側拡張建築」のみで，いわゆる7号館を含め他の建築計画で具体化したものはありません．西側拡張建築については以前に武内敦郎名誉教授を長とする委員会があり，ここで拡張建築の青写真が作成されています．今回，学長ほか13名の委員よりなる「病院西側拡張建築委員会」が

発足しましたが，前委員会での建築計画に大きな改変はないと思われますので，これに従って概略をのべます．

西側拡張建築とは病院3号館及び外来棟の西側を南北に走る廊下の西側に，敷地面積約280m²の4階建の建物を増築しようとするものです．各階に設置予定の設備は，以下の通りです．

1階：栄養指導室，薬剤部，サービスコーナー，予備室，トイレ(男，女)，2階：眼科用検査室，超音波治療室，麻酔科医局，作業室(臨床検査技士)，予備室，トイレ(男，女)，3階：学外実習看護学生の更衣室・控室，電算機室，トイレ（男，女)，4階：会議室1，会議室2，予備室，女医当直室1，2，トイレ(男，女)，などであります．

現在の輸血室は非常に手狭であり，業務に支障が起こりつつあります．西側増築部4階に会議室（約65m²）が2部屋設けられることになれば，輸血室隣りの第4会議室は輸血室の一部に転用することができましょう．

その他内科外来（外来棟2階）は常に混雑を極めています．この問題の解消にも何らかの手を打つ必要にせまられつつあります．前にものべた通り，旧図書館及び医局棟の利用についての具体案はまだありません．

以上，当附属病院の現状ならびに将来につき簡単にのべました．ほかに関連病院や救急医療など重要な問題がありますが，またの機会にふれたいと思います．

大阪医科大学医師会員への勧誘活動

広報担当　高　松　順　太

本年５月に，晴れて入局された若い医師の方々に，医師会員となられるための手続きと方法について御案内しました．

現在，大阪医科大学では独自の医師会をもち，地域の医師会との交流や年２回の医学会を主催し，研究発表と勉強の機会をつくっております．会員は全教室に及び，その数は381名となりました．その活動をさらに充実させるため，新しく医師となられた先生方全員に入会して頂き，大阪医大の医師会をより一層充実させて欲しいと願い，大阪医大医師会々報第１～５号を新入局医師に配布しました．また，医師会員となられる場合の資料も添えました．増加の一途をたどっている医療過誤事件や医療訴訟が生じた場合，会員には医師会の顧問弁護士がついてくれるほか，賠償費用も負担する保障がつくことも，重要なメリットのひとつと考えられます．また家や車を買うときに大阪府医師信用組合からお金を有利に借りることもできます．

これらの内容をまとめ，以下に示しますような「医師会入会の御案内」として各新入局医師にお配りし，これに大阪府医師会入会パンフレットも添えました．また不明瞭の点があれば，各教室の医師会代議員の先生に尋ねて頂き，入会の事務手続きについては，当医師会事務局村上純子さん（内線2664）に連絡して頂くようお願いしました．

＜医師会入会の御案内＞

医師会では「すべての医師は医師会員に」ということから，病院や医療機関などに勤務されている医師も，医師会に加入して頂くことを願っております．

1．入会資格

医師免許収得の医師であれば研修医の先生から入会できます．地区医師会（大阪医大医師会）――大阪府医師会――日本医師会セット（4枚複写）になっていますので，1枚の記入で3箇所の医師会に入会になります．医師会入会には窓口の医大医師会に連絡下さい．

2．入会される場合

①同封の書類に記入・捺印（3枚とも朱肉印を押して下さい．）

②会費26,000円（天引き以外の1期分会費　A_2の場合）

③入会金10,000円（C会員は不要）

④写真（横2㎝×縦2.5㎝）1枚…後日でもかまいません．

大阪府医師会会員証を作成します．不要でしたら写真は要りません．

以上を医師会にお持ち願うか，医局の秘書の方にお預け下されば受け取りに参りますのでご連絡下さい．職員会館内　医師会　村上迄　内線2664番，毎週月・火・木（10時～4時）に来ております．

3．会費の説明

［入会金］

大阪府医師会が入会金として1万円徴収．

以前に大阪府医師会に入会されていた方及びC会員はいりません．

［会　費］

A_2会員……日医「医師賠償責任保険」に入る勤務医師

1期分26,000円（4ケ月分）……月額 6,500円

B会員……日医「医師賠償責任保険」に入らない助手以上の勤務医師

1期分14,000円（4ケ月分）……月額 3,500円

C会員……医育機関（在阪5大学）における助手までの勤務医師

1期分 6,000円（4ケ月分）……年額18,000円

4．会費の納入方法

＊助手以上の先生は……給料から月払いで天引き致します．さかのぼっての医師

会費と入会金は別途に現金でお支払い下さい．

◆毎月の５日以降にお申込みされた時は，会計の締切後になりますので，その月の医師会費も現金でお願いします．次の月から天引きになります．

＊助手以外の先生

◆期払い又は年払い（Ｃ会員）でお願いします．

◆以下の支払い方法がありますので，お選び下さい．

①住友銀行の自動引き落とし

住友銀行に口座を持っておられたら（市外でも）銀行自動引き落としの手続きができます．（４ケ月に１回引き落とし）

用紙は医師会にありますのでお申しつけ下さい．住友銀行にもあります．各自の銀行印と口座番号だけ記入頂いたら手続きができます．

②住友銀行の医師会の口座に各自でお振込下さい．

１回目以降の医師会費は各期ごとに請求書をお届け致します．その請求書に銀行口座振込先を明記していますのでお振込願います．

③郵便局の郵便振替えで全国どこの郵便局からでも入金できます．

振込用紙を請求書に同封致しますので用紙に各自のお名前を記入後，お支払い下さい．

④各自，医大医師会事務所までご持参下さい．

５．期　間

１期（４月～７月）　２期（８月～11月）　３期（12月～３月）

＊期の途中で入・退会されましても期の単位で会費は頂きます．

例……７月入会でも４月からの医師会費をさかのぼって頂きます．

医師会費を１年分以上滞納した場合は，大阪医大医師会助成金は出さず，正規の金額を頂く事になるかもしれませんのでご注意下さい．

６．退　会

転出先が市内・府内であっても大阪医科大学附属病院を辞める場合，退会の手続きが必要です．他の医師会入会後でも退会書を提出しない限りは退会にならず，日医・府医から請求が来ます．籍が残っていますと，ずっと医師会費を頂く事になります．早目にお知らせ下さい．退会用紙をお届けします．

＜医師会会員特典＞

◆日本医師会「医師賠償責任保険」の適用を自動的に受けられる．（A_2会員のみ日医100万円～１億円迄補償）

同封の医師賠償責任保険の概要の文書をお読み下さい．1円～100万円迄は大阪府医師会がしております．(別契約)後日ご入会のご案内が届きますが，先生個人の自由契約です．

◆北摂四医師会医学会に演題を発表できる．

◆雑誌・会報ニュースの配付・講習会等に参加できる．

日本医師会雑誌は各先生方に喜ばれています．

日医及び大阪府医師会の産業医やスポーツ医学の講習会を受けられる．

＊大阪府医師会ではその他のサービス業務を行っています．(府医師会冊子参照)

◆大阪府医師国民健康保険組合へ加入する事ができる．

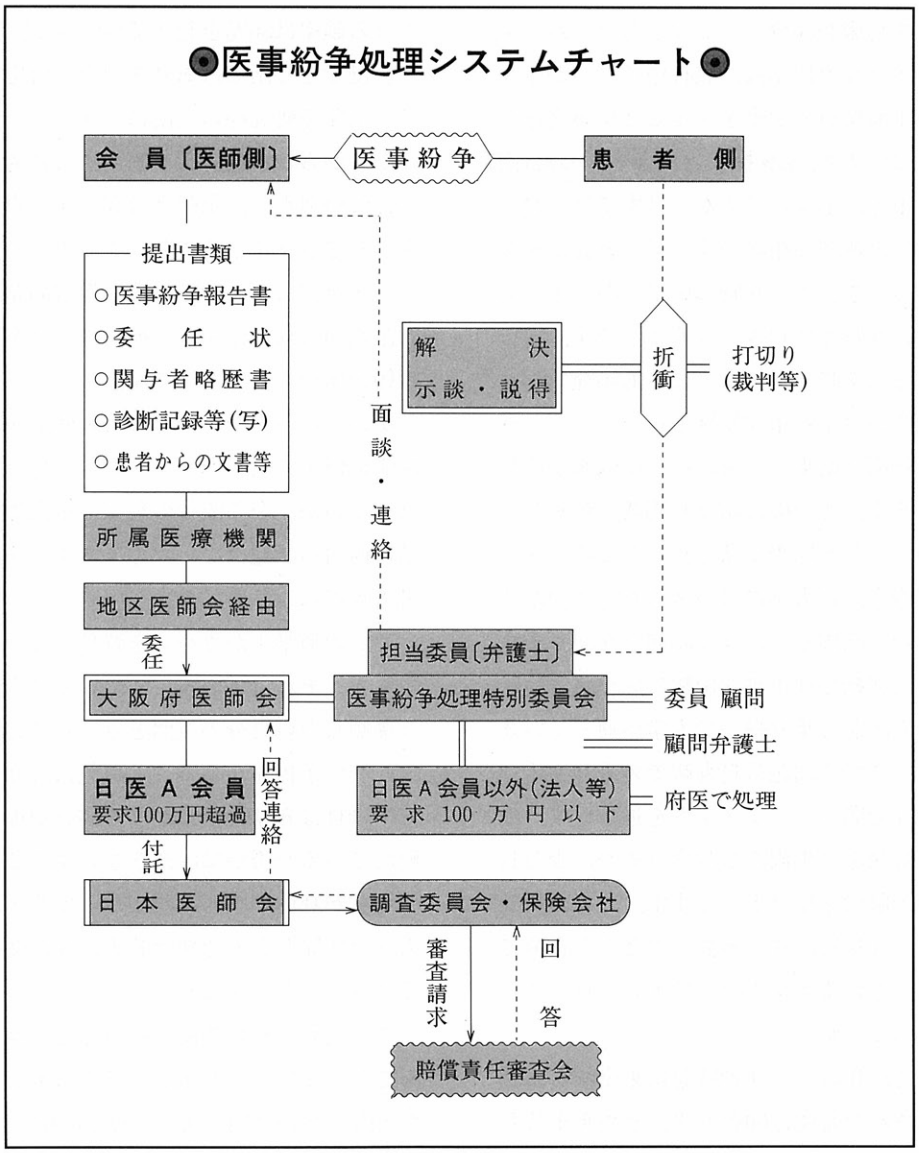
健康保険をお持ちでない先生方は，この医師国保がお得です．

◆大阪府医師会共済規定の適用を受ける（労災でのけが・病気・死亡 etc.）

◆日本医師会医師年金に加入できる．(基本掛金12,000円～)

＜医師賠償責任保険について＞

本大学の勤務医にとっては非常に利用価値の高い保険であろうとおもわれますので，臨床にたずさわる医師全員が日医のA_2会員になることをおすすめします．



会員の広場

朝の2時間ちょっと

耳鼻咽喉科学教室教授
竹　中　　洋

4月1日に母校に戻って早くも2ヵ月が過ぎてしまいました．勿論，職場も人間関係も大きく異なってしまいましたが，この間に身近なことで変ったことを振り返ってみます．

まず起床が30分早くなりました．わが家ではアメリカ留学後，旅行中でないかぎり1日1回全員で食事をすることが不文律になっています．家族構成は妻と3人の娘(高1，中2，小4）ですが，日本では夕食を一緒には無理な相談です．勢い朝食が重要になってきます．6時起床ですが，妻は気の毒に5時半に起きているようです．ゆっくりして7時半ジャストにさあ出発です．

住まいは京都市左京区下鴨です．ちょうど植物園の南東で，裏に松ヶ崎疎水が流れています．春の桜に始まり躑躅，蛍そして秋のもみじと四季が楽しめるところです．京都府立医科大学にはバスで10分の距離でしたが，高槻までは少々時間がかかります．

妻の運転で地下鉄北山駅に向かい，地下鉄から阪急と乗り継いで大学へ通っています．ここでの問題は烏丸駅での乗り換えです．3分間のドキュメントを述べます．地下鉄最後尾の車両を飛び降りるや，少し長いめの階段を駆け上がります．この間対向者をすり抜け，将に飛燕のごとくと自分では思っていますが果たして他人の目にはどうでしょうか．

阪急改札口から通勤特急に乗車するまでに残された時間は60秒です．どの乗車待ちが短いか一瞬の判断で突進することにしています．よく観察していると私のように日によって列を変る人と，いつも同じ列の人がいます．

努力？を重ねた結果，座って高槻市駅につける確率は80％を超えていますが，決して自慢できる話ではありません．自宅を出て45分間で研究棟の12階につきます．

これからが本題に入ります．この通勤での最大の利点は，毎朝3分間ですが妻と2人きりで会話できることです．1日のお互いのスケジュールや子供達の教育問題などが話題の大部分ですが，疲れきった夜よりは頭の回転もよさそうです．

次はいろいろな意味で社会勉強です．花粉症に悩んで大きなマスクをつけている人はいないか，今年流行の色は，中高生の会話で面白い話題はないか等々です．勿論読書も可能になりました．

殆どの通学生がカバンを背負っているのですが，それほど混雑していなくても，隣と接触しない自分の空間をきっちり分かっていない子供達が多いことが気になります．背中に目はありませんが，カバンが他人に触れているか否かに注意がないようです．平衡覚が身体の空間的認知だとすると，他人との空間共有の認知は若干これに関わってくるかもしれません．

さて定められた紙面もそろそろ尽きるころです．なにはともあれ4月から少し変った通勤を楽しんでおります．勿論職場もです．

会員の広場

小児科医の立場

小児科学教室教授
玉井　浩

最近の少産少子化傾向はこの１～２年で歯止めがかかり，西暦2000年には底となり，その後はわずかばかり増加傾向に向かうとの観測がある．しかし，急に病院にくる子供が増えるわけでもないから，小児科医としては多くは期待できない．一方，高度化する新生児医療は保険点数の改善があったとはいえ，リスクと人件費を考えると，大学病院や医療センターでなければ経営は苦しい．一般外来診療でも，保険制度が変わり，いわゆる包括まるめ制度を選択できるようになったが，実際，これを採用しているところは少ない．しかし，こんな話ばかりではなく，最近の状況は少しずつ変わってきている．小児科の一般開業をとってみても，住民からの要請は多く，地域医師会からも歓迎されている．住民も意識が高まっており，小児科単科で開業しているところに子供を連れてくる人が多い．設備投資も少なくてすむし，小児医療としての保険点数も上がり，最近開業した小児科医院もずいぶん盛況である．

また，日本よりさらに少産少子化が進み，社会保障制度の整っている北欧では，高齢者に対する以上に，かれらを支える青年，さらに子供に対し，国家が医療保障制度を充実させている．日本政府もやがて北欧に追随して，子供を大切にしていくものと期待している．一部の政治家にもこれに近い考えの人がいる．過疎に悩む高知県の橋本大二郎知事は，老人のゲートボール設備をつくるより，若者・子供が集まるサッカー場をつくりたいと言う．我々大学病院の勤務医にとっては，どうであろうか．大人より３倍は手のかかる子供でも病院の収入は３倍にはなっていないし，実際はその逆であろう．しかし，入院が必要な小児を受け入れる病院は大きな病院に集中し，その上に教育病院として，地域の基幹病院として，高度医療を提供する病院としてわれわれの病院は存在している．厚生省の示してくる小児医療への医療保険制度と小児医療の実際との間には，確かに隔たりはあるが，その溝を埋めるには，やはり小児科医としての理想を追求する努力が必要であると考えている．

これからの小児医療においては，将来の日本を担う大事な子供の医療に携わっているという自負心を持つことが大切であり，正しい医療ができる源泉であると私は考えている．病棟・外来の元気になった子供たちのすなおな笑顔をみると，愛らしく，疲れも一瞬にして消え去るように感ずるのは私だけではないと思う．

Information

（研究会・講演会・カンファレンス etc.）

大阪医科大学を中心に開催されている研究会、講演会、カンファレンスなどのうち、会員が参加できるものについてのインフォメーションを掲載いたします。今後も順次お知らせしたいと考えています。ぜひ情報をお寄せ下さい。

大阪医科大学神経精神医学教室　米田　博
Tel 0726-83-1221・Fax 0726-83-4810

第4回北摂四医師会医学会

開 催 日：平成8年10月26日（土）
場　　所：高槻市総合保健福祉センター
問合せ先：大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教室

8月末頃より演題募集を開始します.
ふるって演題をお寄せ下さい.

大阪医科大学平成8年秋季第1回学術講演会

日　　時：平成8年9月11日　午後2時30分～6時
場　　所：大阪医科大学　臨床第一講堂
当　　番：微生物学教室・脳神経外科学教室
問合せ先：大阪医科大学医学会　大阪医科大学教務課内

プログラム

＜特別講演＞

「腎近位尿細管の電解質輸送機構について」
大阪医科大学　第二生理学教授　窪田　隆裕

「ビタミンの代謝調節機構―ビタミンE，レチノイン酸について―」
大阪医科大学　小児科学教授　玉井　浩

＜ミニシンポジウム＞

「ハムスター頬袋由来アンジオテンシンII産生能を有するキマーゼの精製および酵素学的特性」
薬理学　高井　真司

「質量分析による変異蛋白質の構造解析と関連疾患の診断」
病態検査学　中西　豊文

「脊髄におけるプロスタグランジンの痛みに対する役割」
麻酔科学　南　敏明

●北摂四医師会医学会プログラム●

【第3回】

1．日　　時　平成8年6月8日（土）午後2時～

2．場　　所　大阪医科大学　臨床第1講堂

開会の挨拶　　岡田　　宏

演題発表（2：00～2：40）　　司　会　　藤本　　昭

（1）実地診療における骨塩測定の有用性

高槻病院　内科

筒泉　正春，澤井　繁明

高槻病院　小児科

根岸　宏邦

高槻病院　整形外科

白石　英典

島津内科クリニック

島津　公隆

なかじま診療所

中嶋　啓子

（2）成人水痘症の一例

高槻市　中谷病院

中谷　一臣

（3）DIC-CT（3D）が術式決定に有用であった，肝内胆管癌の一例

新生病院　内科

中島　周三，石田　高明，吉本　健朗，荒木　恒治

新生病院　外科

横田　　徹，安積　和之，塩貝　陽而

新生病院　放射線科

大石　雄二，小木曽亮次

大阪医科大学　第二内科

多田　秀樹，勝　　健一

（4）日常診療で見逃しやすい肺動脈塞栓症の2症例

大阪府三島救命救急センター

藤田　雅史，福本　仁志，西本　秦久，仁科　拓也，本多　貞恵

森田　　大，冨士原　彰

茨木市　堀井医院

堀井　良侑

教育講演（3：00～3：45）　　司　会　　植木　　實

「スペインの医学教育の現状」

スペイン・サンチェゴ大学医学部産婦人科助教授

マルタ　ゴンザレス（女医）

特別講演（3：45～4：45）　　司　会　　植木　　實

「日本文化のルーツ―秘境・雲南省に残された太古からのメッセージ―」

国際日本文化研究センター客員助教授

彭　飛（ポン　フェイ）

閉会の挨拶　　原　　亮多

大阪医科大学医師会役員構成

大阪医科大学 医師会役員

会　　長	植木　　實	(産婦人科)
副会長	清金　公裕	(皮　膚　科)
	河野　公一	(公衆衛生学)
	勝　　健一	(第二内科)
広　　報	河野　公一	(公衆衛生学)
	高松　順太	(第一内科)
	米田　　博	(精神神経科)
	田中　英高	(小　児　科)
	佐野　浩一	(微生物学)
会　　計	高松　順太	(第一内科)
書　　記	麻田　邦夫	(胸部外科)
会計監査	竹田　喜信	(第二内科)

大阪府医師会 代議員

植木	實	(産婦人科)	
河野	公一	(公衆衛生学)	
稲森	耕平	(麻　酔　科)	
阿部	宗昭	(整形外科)	
清金	公裕	(皮　膚　科)	
勝	健一	(第二内科)	
北浦	泰	(第三内科)	

大阪府医師会 予備代議員

清水	章	(病態検査学)	
麻田	邦夫	(胸部外科)	
河合	武司	(放射線科)	
佐野	浩一	(微生物学)	
高松	順太	(第一内科)	
米田	博	(精神神経科)	
徳岡	覚	(眼　　科)	

大阪府医師会 勤務医部会第２ブロック

植木　實(産婦人科)　　清金　公裕(皮　膚　科)
河野　公一(公衆衛生学)　　勝　　健一(第二内科)
稲森　耕平(麻　酔　科)　　北浦　　泰(第三内科)
麻田　邦夫(胸部外科)　　高松　順太(第一内科)

大阪府医師会 医学会運営委員

勝　　健一(第二内科)

大阪府医師会 臨床検査精度管理委員

清水　　章(病態検査学)

大阪府医師会 医学会評議委員

勝　　健一(第二内科)　　稲森　耕平(麻　酔　科)
北浦　　泰(第三内科)

大阪府医師会 生涯教育担当理事

麻田　邦夫(胸部外科)　　梶本　宣永(脳神経外科)
田中　英高(小　児　科)　　中井　　健(耳　鼻　科)

大阪府医師会 労災部会委員

阿部　宗昭(整形外科)

大阪府医師会 医療情報担当理事

米田　　博(精神神経科)

大阪府医師会 医事紛争担当理事

高松　順太(第一内科)

大阪府医師会 医道に関する特別委員会委員

稲森　耕平(麻　酔　科)

大阪府医師会 スポーツ医学担当理事

阿部　宗昭(整形外科)

大阪府医師会 産業医担当理事

河野　公一(公衆衛生学)

大阪医科大学 医師会顧問

藤本　　守(学　　長)

編集後記

本会報も第6号となった．編集に加わるようになって〝大阪医科大学の大阪医科大学らしい医師会とは〟をあらためて考えるようになった．もちろん大阪医科大学医師会は大阪府医師会，さらに日本医師会とつながっているわけで，これらの医師会と共通する部分も多い．それと同時に特異性，独自性を自覚してゆかなければならない．本学附属病院は特定機能病院として，また地域医療の中核として機能している．今号では，佐々木進次郎病院長に，厳しい医療状勢の中での本学附属病院の動きを御執筆いただいた．医師会としての役割を考えてみたい．

ところで今号が発刊される頃には，アトランタオリンピックはもう終わっているだろう．日本選手の活躍はどうだったのだろうか．ウィンブルドンでは伊達公子選手が準決勝まで勝ち進んだ．平和と友愛のスポーツの世界だが，日本選手が出場するとなると一瞬に国粋主義者になる．これを心理学的に解釈すると・・・・・．とりあえず，テレビの生中継を見ていると毎日睡眠不足になってしまいそうだ．

会員の広場では，最近教授に就任された竹中先生と玉井先生に御寄稿いただいた．これからもよりよい会報にしてゆきたい．どうぞ忌憚のない御意見や情報をお寄せ下さい．

広報　米田　博

大阪医科大学医師会会報　第6号

発行日　平成8年9月1日
発行　大阪医科大学医師会
発行責任者　医師会長　植木　實
編集　大阪医科大学医師会広報担当
〒569 高槻市大学町2-7
大阪医科大学医師会事務室(村上純子 職員会館内)
TEL. 0726-83-1221(内2664)
制作　知人社